

令和3年度那覇地区中学校 新人大会柔道競技 コロナウイルス感染防止対策ガイドライン

※ 本ガイドラインは、下記のガイドラインを参考し、作成しています。

「令和3年度 那覇地区中体連夏季総体 ガイドライン」

「(奥武山)新型コロナ感染症感染拡大予防ガイドライン」

那覇地区柔道専門部

選手・監督(顧問)・コーチ

1. 大会前日まで

(1) 大会申し込みについて

- ① 学校長が参加を認めた選手、監督、コーチで大会参加の申込を行う。
- ② 学校長へ「同意書」の提出…選手、保護者へ本ガイドラインの感染症防止対策を理解して頂く。
- ③ 大会参加については、選手の意思、保護者と相談の上、両者の合意の下、決定するものとする。
- ④ 「同意書」は、各学校で、大会終了後1か月保管すること。

(2) 大会前の健康管理について

- ◎ 大会初日2週間前から当日までの、「健康観察、体温チェック等」を行う。

※大会当日に、「健康チェックシート」の提出があります。

※¹ 大会開始2週間前から、息苦しさ(呼吸困難)・強いたるさ(倦怠感)・高熱などの症状があつた場合は、かかりつけ医等に相談し受診すること

※² 大会開始2週間前から、発熱等の風邪症状がある場合は、部活動を休み外出を控えること。

※³ 発症後、少なくとも8日間経過していること(咳・咽頭痛・息切れ・全身倦怠感・下痢など)

※⁴ 発熱等の風邪症状で、かかりつけ医や医療機関を受信できない場合は、解熱剤を含む症状を緩和させる薬剤を使用せず、発熱や風邪症状の消失から少なくとも72時間(3日間)を経過していること。

※⁵ 発熱や風邪症状が生じても、PCR検査または同様の検査で、陰性が確認され、症状消失後に参加可能とする。

(3) 大会出場校より新型コロナウイルス感染症、濃厚接触者・感染患者が出た場合

- ① 大会前日までに、学校の設置者が臨時休業を解除していない学校は、大会出場を認めません。

- ② 大会前日までに、出席停止の措置がとれていない生徒は、大会出場を認めません。

(4) 感染対策責任者の設置について

- ◎ 感染対策責任者を、各学校(各チーム)において、任命する。感染対策責任者は、事前、大会当日、事後に専門部長と連絡とり合えるようにする。

(5) 不参加の場合…会場責任者に連絡する。

那覇地区柔道専門部長 神里和弘(那覇中学校) Tel098-917-3405 Fax098-917-3425

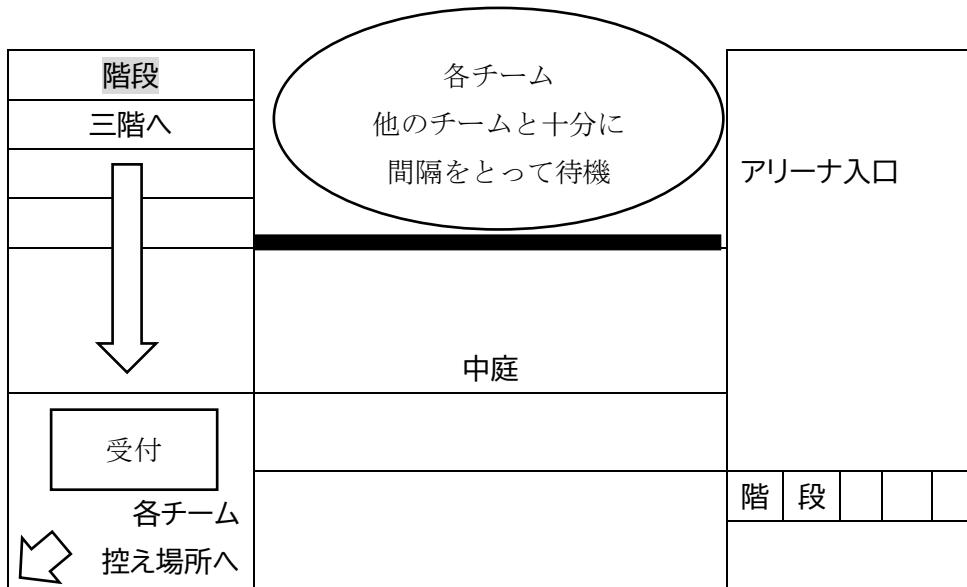
2. 大会当日

(1) 本大会は、原則無観客試合とする。※以下に該当する関係者は、会場の出入りを認める。

- ・登録選手、マネージャー(1名)
- ・管理職、顧問・副顧問・引率者
- ・部活動指導員・外部コーチ
- ・大会役員、審判員
- ・救護対応保護者(4名)

(2) 会場への入場について

- ① 開門時間(9時)までに、武道館赤門前広場にて、チームごとに(監督、コーチ、選手、救護対応保護者)十分間隔をとって待機する。
- ② 会場は、武道館外側階段から、入場を行う。(下記図参照) ※チーム全員で入場する。



- ③ 各チームにおいて、会場への入場時に、受付で「**新型コロナウイルス対応版チェックリスト(チーム1枚)**」、「**健康チェックシート(参加人数分)**」を提出し、全員アルコールで手の消毒を行う。

※¹ 受付係は、入場チーム数と人数を会場責任者に報告する。

※² 健康チェックシートは那覇地区中体連ホームページよりダウンロード

- ④ 会場内では決められた場所に待機し、席の移動や交換は行わない。

第一試合場(島尻地区)	第二試合場(那覇地区)
応援席(各チーム待機場所) 監督・コーチ・選手・救護対応保護者 監督・コーチ・選手・救護対応保護者 監督・コーチ・選手・救護対応保護者	応援席(各チーム待機場所) 監督・コーチ・選手・救護対応保護者 監督・コーチ・選手・救護対応保護者 監督・コーチ・選手・救護対応保護者
試合場	試合場

- ⑤ 更衣室では利用する人数を制限し、利用時は必ずマスクを着用する。

・各チーム交代し着替えを行う。同時に複数チームが利用することがないようにする。

(3) 大会参加自粛事項…下記に該当する場合、自主的に参加を見合わせる必要有

- ① 体調が良くない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
- ② 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
- ③ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航
又は当該在住者との濃厚接触がある場合

※大会当日、発熱や風邪等の症状が出た場合 ※保護者へ連絡、速やかに帰宅する。

(4) 大会参加や全員のマスク着用

- ◎ 飛沫感染防止のため、基本的に常時マスクを着用する。特に、試合間の観戦時等の待機時もマスクを着用するよう留意する。但し、熱中症等の健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外し、他者との間に十分な距離を保つ。

(5) 開始式について

- ① 感染状況によっては、開始式を行わない。その際は、注意事項の確認の時間を短時間で設定する。
- ② 開始式を実施する場合は、チームごとに整列し間隔を十分にとる。

(6) 大会運営について

- ① 会場準備…各チーム役割分担し、準備を行う。※担当の先生の指示に従う。
- ② 試合前の練習…各チーム決められた場所で行う。

【 第1試合場:島尻地区 第2試合場:那覇地区 】

※ チームごとの間隔を十分にとり、接触がないよう心がける。

③ 計量

- チームごとにまとまって計量を行う。
※ 計量会場では十分に間隔をとる。計量係の指示に従い計量を行う。
- 計量を団体と個人に分けて実施する。団体→個人

④ 試合中の留意事項

- 試合を団体戦・個人戦に分け、選手の入替を行う。
※ 第3錬成道場への入場可能な人数を超えないよう留意する。
- 会場への入場は登録選手、監督、コーチのみとする。
※¹ 試合場内でのミーティング等は行わない。試合終了後、会場場外で行う。
※² 敗退した選手(次の試合がない選手)は速やかに帰宅させる。

(7) 閉会式について

- ① 閉会式は行わない。
- ② 競技終了後、会場片付けを行い速やかに帰宅する。
- ③ ゴミは各自持ち帰りとする。
- ④ 各チームの待機場所の清掃は手袋を着用して行い、終了後は時間をかけ手を洗う。

(8) その他

- ① 大会関係者が、出入りする箇所全てに、アルコール消毒液を設置する。
- ② 全てのドアや窓を開け、常時換気を行う。会場係は換気が行われているか確認する。
- ③ 接触頻度が高い箇所(手すりやドアノブ等)は、適宜消毒を実施する。
- ④ 更衣室やトイレを使用した際には、時間をかけ手を洗う。手洗い後は、ペーパータオルで拭く。
(使用後は、備え付けのゴミ箱ではなくゴミ袋に入れる。)
※会場係は、トイレ・更衣室のゴミ袋の交換を定期的に行う。
- ⑤ 受付係は、各チームの控え場所の人数を確認し、登録された人数と異なる場合は、会場責任者に連絡する。
- 6 開場時間に間に合わなかった選手や保護者は、監督が健康観察を行い、健康観察シートを会場責任者に提出し、受付係に報告する。

3. 大会終了後

(1) 大会終了後、新型コロナ感染症が発生した場合の対応

◎会場責任者へ、速やかに連絡する。

那覇地区柔道専門部長 神里和弘(那覇中学校) Tel098-917-3405 Fax098-917-3425

※ 感染症発生時は、大会中に、①誰と②どれくらいの距離で、③何分話したか、④マスクを着用していたかなど、他人との接触状況を保健所等に報告が必要となります。生徒や保護者の行動把握をお願い致します。なお、マスクを着用することで濃厚接触者へ該当する可能性を軽減させることができます。したがって、大会期間中は、マスク着用のご協力をお願い致します。

(2) 競技終了後について

◎ 競技終了後、速やかに解散する。(賞状等は各学校の引率の先生に配布する。)

審判・役員

1. 大会前日まで

- (1) 大会初日 2週間前から当日までの健康観察、体温チェック等を行う。
- (2) 以下の事項に該当する場合の自主的な参加の見合わせを検討する。
 - 体調が良くない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
 - 入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- (3) 参加できない場合は、会場責任者に連絡する。

那覇地区柔道専門部長 神里和弘(那覇中学校)TEL098-917-3405

2. 大会当日

(1) 試合前

- ① 風邪の症状や発熱等がある場合は、速やかに帰宅する。
- ② 入場時に健康チェックシートを提出し、アルコールで消毒を行う。
- ③ 会場内ではマスクを着用する。※役員は常時マスクを着用。審判員は待機中にマスクを着用。
- ④ 会場内では、係ごとに決められた場所に待機する。
 - ・本部:総務、記録(本部)、第1試合場・第2試合場:掲示、記録(会場)、時計
- ⑤ 受付係を配置し、以下のことを行う。
 - ・会場入口で健康状態を確認し、健康チェックシートを受け取る。提出がない場合は、会場内に入れない。
 - ・入場の際には、必ず手指の消毒を行い入場させる。
- ⑥ 【大会期間中常時実施】会場係を配置し、以下のことを行う。
 - ・更衣室やトイレが適切に使用されているか点検する。
(使用人数が多く密集していないか、ペーパータオル、ハンドソープ、ゴミ袋の設置・回収等)
 - ・定期的に、換気のため窓空いているか確認する。

(2) 試合中

- ① 必要最低限の審判・役員で大会を運営する。会場滞在期間を可能な限り短くする。
 - ② 審判員や競技役員の人数に余裕がある場合は、必要な人数を設定し、交代しながら行う。
第3 錬成道場への入場可能な人数を超えないよう留意する。
 - ③ 審判員はフェイスシールド等を着用し審判を行う。(待機中はマスク着用)試合終了後は、アルコールで消毒を行う。
- (3) 閉会式…閉会式は行わない。※競技終了後、会場片付け・清掃を行い速やかに帰宅する。

3. 大会終了後

- (1) 競技終了後、速やかに解散する。(賞状等は各学校の引率の先生に配布する。)
 - (2) 清掃は手袋を着用して行い、終了後は時間をかけ手を洗う。
 - (4) 備品などの返却時に、消毒をし、返却を行う。
 - (3) 大会終了後、コロナウイルスの感染が確認された場合は速やかに会場責任者に連絡する。
- 那覇地区柔道専門部長 神里 和弘(那覇中学校)TEL098-917-3405 Fax098-917-3425